

# 事務局だより

## みえの農村風景写真コンテスト 受賞作品

第10回



みえの農村にスポットをあてた写真を募集して、農業・農村に対する関心を高めていただき、さらに広報冊子、その他の広報資料にこの写真を活用する事を目的とした写真コンテストを実施した。66点の力作が寄せられ、平成26年2月5日に5名の審査委員により厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞4点、伊勢新聞社賞1点が選ばれた。

### 最優秀賞



「大根畑の初体験」(明和町)松本征夫

大人のひとと一緒に、青々と茂った大きな葉を引っ張り、力いっぱい引き抜いた、腕よりも太い御園大根。ちょっと重いけど、両手で高々と持ち上げてパチリ。伊勢たくあんの原料となる伝統野菜の産地で、次代を受け継ぐ子どもたちの力強さを表現した秀作です。



### 特別賞

「どろんこ遊び」  
(明和町)松本富美子

服はもちろん、顔や口の中まで泥だらけになって遊ぶ様子を描いた作品。泥水を跳ね上げて、元気に飛び込む様子が躍動的に写し出されています。子どもの表情と水しぶきがうまく収められています。



「春来」  
(熊野市)中村昭夫

丸山千枚田に春を告げる田植え。水面が光る整備された棚田に、順に植えられていく苗の線が印象的な作品です。秋の収穫に向けて、黙々と作業をする男性の力強さもうかがえます。



「田植え」  
(熊野市)海野賢一

手作業で稲を植える祖父と幼い兄弟。子どもたちなりに真剣に、苗を一つひとつ丁寧に植えていく様子が感じられます。孫に手を添えてやさしく教える姿がほほえましく、世代を超えて共感できる作品です。



「田植の日」  
(多気町)澤田静子

昔ながらの衣装とすげ笠での田植え。田んぼの中を裸足でおそるおそる進む子どもたちの様子がよく撮れています。笠に付けた花のピンク色が水面にも写り、田んぼに華を添えています。



### 優秀賞



「協同作業」(熊野市)藤高文男

さわやかな秋空のもとで行う稲刈りの一場面。老夫婦の表情がよく表れており、心を合わせた作業風景が描かれています。緑の山々と金色の稲穂が風景画のような色合いを醸し出した背景も美しいです。



「はざがけたいけん」(松阪市)山脇陸祐

自分の背より高い稲架に向かって、懸命に手を伸ばし、稲を架けようとする女の子。落ちそうになるとお母さんやお姉さんも駆け寄ります。作業の一員としてがんばる小さな姿に、手を差し伸べる瞬間をとらえた、心温まる作品です。

### 伊勢新聞社賞



「村の幸せ願って」(南伊勢町)小山美すゞ

豊作と村の安全を願って地域に伝わる行事。太鼓を持ってポーズを決める男性の生き生きとした表情が印象的です。太鼓を叩きながらにぎやかに練り歩く姿が思い浮かびます。色鮮やかな吹流しがアクセントになっています。